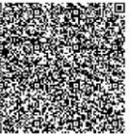


2024年度 域学共創プロジェクト概要一覧

授業名	プロジェクトタイトル	主導学部	担当教員	実施期間	参加可能人数	プロジェクト内容	学びの効果	授業解説動画
域学共創プロジェクトA	障がい者の「生きる」に寄り添うコミュニティケア	看護学部 福祉総合学部福祉総合学科	伊賀 聡子 太田 幸雄 森山 拓也	S1/S2/F1/大学祭/F2 /発表会(2月)	12名程度 施設の関係	障がい者の生の芸術と呼ばれる、『アール・ブリュット』作品の展示会の開催を通して、障がい者の方々と地域の皆さまを「つなぐ」架け橋となるプロジェクトです。 生活クラブ風の村の5つの施設と、厚生労働省障害者芸術文化普及支援事業を手掛けるこまちだたまお先生、本学の水田美術館に協力をしていただきながら、障がいのある方々の「地域との繋がりに乏しい」という課題の解決に向けた取り組みを推進します。	本プロジェクトを通して、下記の能力を身につけます。 1. 3障がいについての基礎知識と、障がい者支援についての知識 2. アートとケアおよびアール・ブリュットについての知識 3. 地域課題の発掘と地域課題の解決に向けた企画力、企画遂行能力 4. 他学部の学生や地域の専門職の方々と協働する能力 5. 多様な自己表現とコミュニケーション方法についての能力 1～5の他、差別や偏見についての倫理感受性を高めることができます。	録画のリンク： 
域学共創プロジェクトB	道の駅と大学	観光学部	金子祐介	S1/S2/SS/F1 +発表会(2月)	20名 マイクロバスを利用するため	本プロジェクトは、東金市役所(以降、東金市)と連携し、東金市が運営する道の駅・みのりの郷東金を基点とし、下記の三点を目標に、観光振興に寄与するプログラムづくりを実施しています。 (1)地域のネットワークを構築すること (2)地域経済に寄与する観光について検討すること (3)通年観光に寄与する地域の仕事を生み出すこと 2020年、2021年度は、まち歩きイベントを実施、2022年度以降は6ヵ年計画でサイクルツーリズムを推進していきます。	"本プロジェクトを受講することで、下記の能力を身につけます。 ①地域調査(フィールドワーク)を通じた地域の魅力や課題を発見する眼 ②地域調査(フィールドワーク)を通じた情報を収集し、記録する力 ③企画・立案(グループワーク)を通じたディスカッションによるコミュニケーション力(地域の人と交渉する能力含む) ④企画の運用検討(グループワーク)を通じたアイデアを具現化する方法 ⑤未来の地域社会の課題を検証し、検証の結果について分析する能力"	録画のリンク：  パスワード: DrkWJMP3
域学共創プロジェクトC	山武市在住高齢者のデジタルデバйд解消プロジェクト	看護学部 福祉総合学部福祉総合学科 理学療法学科 薬学部	四十竹 美千代 山村 重雄 竹内 弥彦 安田 孝 中野 元 山根 主信	S1/S2/SS/F1 +発表会(2月)	25名程度	本プロジェクトは、デジタル化が進む日本において取り残されている高齢者のデジタルデバйд(情報格差)解消に向けて取り組むプロジェクトです。高齢者におけるデジタルデバйдの現状及び高齢者へのスマートフォンの教え方等に関して外部講師からの講義を受講し、デジタルコーチになってもらいます。その後、山武市在住の高齢者を対象としてスマートフォン講習会を企画運営してもらいます。講習会は3回実施してもらいます。	本プロジェクトを通して、デジタルデバйдの現状を把握しどのようにデジタルデバйдを解消していくことができるかということに関して、自ら考え取り組むことで、高齢者にとって必要なことを学ぶことができ、問題解決能力を身につけることができます。さらに、デジタル大臣からデジタル推進委員とすて任命状を授与することができます。	録画のリンク： 
域学共創プロジェクトD	オリーブ産地化応援プロジェクト	薬学部	光本篤史	S1/S2/F1/大学祭/F2 +発表会(2月)	特に設定しない	本プロジェクトは、東金市が進めているオリーブの地域ブランド化に対し、様々な学生の活動を通して応援していくプロジェクトです。具体的な取り組みテーマとして、「オリーブ収穫体験の企画・運営」「大学祭イベントの企画・実行」「オリーブクラウンの制作・提供」などを実施します。こうした取り組みを介して、「まちに元気を、ひとに健康を」を提供し、ヘルスケアのまちづくりを実践していきます。そして、町に暮らす人たちの中に、健康で元気な人が増えることを願っています。	地域の課題を見つけ、解決策を提案し、実践することを通して、課題発見問題解決力を身につけます。	録画のリンク： 
域学共創プロジェクトE	川代棚田共育プロジェクト	福祉総合学部福祉総合学科	姜 東星 綿貫文野	S1/S2/SS/F1/F2 +発表会(2月)	15名 マイクロバスを利用するため	本プロジェクトは、地域共生の価値を学び、地域共生社会の実現に向けた課題解決に取り組むプロジェクトです。 具体的には、学校法人城西大学創立者水田三喜男先生の故郷である千葉県鴨川市を訪問し、棚田での活動を通じて、地域課題の解決策を探索する。また、学生たちは実際に稲を栽培し、田植えから収穫までの一連の作業を体験し、棚田の伝統を守ることの大切さやお米を作ることの大変さに気づき、自分のできることを考える機会となることを願っている。 ・川代棚田体験フィールド(5月：田植え、9月：稲刈り、10月：収穫祭) ・デイサービスセンターフィールド(7月：「ゆうらく」との交流) ・成果発表会(2月頃)	日本の田植え文化は地域ぐるみの助け合いの象徴であり、農作業は協力と連帯の精神を必要とするため、ここでの「共育」で互いに学び合い、成長し合うことを目指す。その際、建学の精神である「学問による人間形成」を体感するとともに、SDGsの目標に沿った社会貢献を実践する。さらに、福祉施設や棚田での活動を通じて、地域の高齢化や担い手不足といった課題に取り組むことで、地域の活性化につながりし、支え合いながら生活できる社会を実現することを目指す。	動画のリンク： 
域学共創プロジェクトF	地域に住まう人々の健康増進と障害予防に向けた実践活動	福祉総合学部理学療法学科	安齋紗保理 大杉紘徳 深谷泰山	S1/S2/SS/F1/F2 +発表会(2月)	15名 会場キャパシティのため	このプロジェクトでは『健康増進、障害予防』に焦点を当てています。地域での実践活動とおして、地域にはどのような健康課題があるのか、それを解決するためにどのような取り組みが必要なのかを考えています。実践活動では、地域に住まう人々を対象とした体力測定や地域の人々と一緒に健康課題について話し合うグループワークを行っています。	本プロジェクトを受講することで、下記の能力を身につけます。 ①健康増進・障害予防についての知識 ②健康増進活動・体力測定に関わる技能 ③異なる年代の方々とコミュニケーション能力 ④得られた結果を統合し、課題を分析する能力 ⑤課題解決に向けた企画立案能力	録画のリンク： 

域学共創プロジェクトG	ケア機能のあるまちづくり —学童保育における命を守る「防災かるた」普及活動—	看護学部	柚山香世子 丸山あかね	S1/S2/SS/F1/F2 +発表会(2月)	10名程度 会場の関係	このプロジェクトでは、未来の担い手である子どもへの防災教育・普及活動を通して、地域住民との交流による新たなコミュニティづくりについて検討します。また、使用する「防災かるた」には、地域の方々の命を守ろうとする想いが込められており、このような地域の方々と協力した「防災かるた」普及活動を実践し、子どもからご家族へと防災意識を高めることを目指しています。そのため、地域に暮らす子ども（手話を必要とする場合も想定）に合わせた「防災かるた」の検討もしていきます。	本プロジェクトを受講することで、下記の能力を身につけます。 ・地域の魅力や課題を発見し検討、分析する力 ・地域住民の方々と交流による相手の目線や思いを理解する創造力 ・地域住民の様々な年代の方との交流によるコミュニケーション能力（手話も学べる） ・地域住民の方と協同した子どもへの働きかけの場を企画・立案する力 ・地域住民の方々との関わりによる相互関係について思案する力	録画のリンク： 
域学共創プロジェクトH	東金市の祭りや伝統芸能	国際人文学部	名本 光男	S1/S2/SS/F1/F2 +発表会(2月)	特に設定しない	本プロジェクトでは、東金市で古くから行われている祭りや伝統芸能について、その歴史や成り立ち、意味合いなどを実際に関わっている人々から聞き、それらが地域にどのように根付いているのか、さらに、人々との関わりが地域を構成するうえで大切な役割をしていることを理解することを目的としています。そして、実際に祭りに参加することにより、地域への貢献へ繋げたいと考えています。	本プロジェクトを受講することによって、東金市で古くから行われている祭りや伝統芸能について、実際にそれに関わっている街の人々から学ぶことができます。 また、実際に祭りに参加することにより、祭りと地域、人々と関わりについて理解を深め、人々との触れ合いを体感することにより地域の一員としての意識を高めることができます。	録画のリンク：  パスワード：ZeVMbpY4